

広葉樹高値

県内センターの取扱量は累計で前年度比103%。単月では販売減量はほぼ同じ。
 県内合板工場は若干、受入制限を緩和。山元の生産量が少なく、集荷は鈍い。
 スギ一般材の不足感は一層強まり、引合いは強い。細材は保合。役物用は更に減少し引合いも強くなっている。
 カラマツは、小径木の引合いは強いが出材が少ない。単価は保合。合板材は価格を維持している。
 アカマツは良材が高値。4mから2mの一般材は引合いが弱く、特に2m材は合板規格から外れる材の応札が少ない。
 盛岡センターでは、広葉樹の入荷超過により、受入制限を行った。臨時共販も行ったが土場を圧迫している状況は続いている。ナラの価格は高止まり。ホオ、クリ、沢グルミも堅調。

《上段～特選材、下段～一般材》 (m3当たり)

木材流通センター			盛岡	一関	遠野	高田	宮古	二戸	久慈	浄安	釜石	東磐
樹種	長級 (m)	径級 (cm)	2月20日	2月4日	2月28日	2月14日	2月6日	2月5日	2月19日	2月28日	-	2月25日
スギ	2.00	18上	-	-	8,500	8,000	-	8,200	8,500	8,300		-
	3.00	16～26	-	13,200	-	-	-	-	-	-		12,200
	3.65	18～28	-	-	-	-	-	-	-	13,000		12,620
	3.65		61,500									
	4.00	30上	13,800	13,100	13,200	13,500	13,000	10,800	11,500	12,000		12,600
	4.00	10～16	9,000	8,300	11,100	8,000	11,800	8,200	8,000	-		-
落札数量	4,024 m3		532	199	1,271	530	85	199	201	585		423
アカマツ	2.20	36上	131,800	11,000	11,000	-	-	9,300	33,300	12,800	12,600	-
	3.00	16～28	-	11,000	-	-	-	-	-	-	-	-
	4.00	18～28	15,900	11,000	11,000	-	11,500	15,100	-	-	-	-
	4.00	30上	162,900	14,000	11,000	-	13,880	12,800	13,200	12,000	12,000	-
落札数量	739 m3		317	19	143	7	42	15	113	82		1
カラマツ	4.00	7～13	-	12,000	12,500	-	8,000	9,200	9,100	-		-
	4.00	18上	20,000	19,000	19,500	22,000	20,500	17,900	19,500	20,400		-
落札数量	441 m3		38	10	272	22	21	7	49	22		1
出荷数量	9,459 m3		3,825	491	1,717	593	245	319	1,021	704		544
落札数量	8,823 m3		3,683	335	1,703	567	151	319	922	693		451
平均落札率	93%		96%	68%	99%	96%	62%	100%	90%	98%	-	83%
延べ参加者	275名		92	30	22	14	16	25	42	18		16

今後の動向	スギ					アカマツ				カラマツ		造作用材のポイント
	2.00	3.00	3.65	3.65	4.00	2.20	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00	
	18上	14～18	18～28	30上	10～16	36上	14～28	18～28	30上	7～13	14～28	
強気配			○	○								1
保合	○	○			○					○	○	2
弱気配						○	○	○	○			3